

## 2. 社会支出と国際比較

### (1) 政策分野別社会支出

2015年度の社会支出を政策分野別にみると、「高齢」が最も多く（46.4%）、次いで「保健」（34.5%）、「家族」（5.8%）、「遺族」（5.6%）、「障害、業務災害、傷病」（4.4%）、「他の政策分野」（1.3%）、「失業」（0.8%）、「積極的労働市場政策」（0.6%）、「住宅」（0.5%）の順となっている。

表4 政策分野別社会支出

社会支出	2014年度	2015年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
合 計	1,165,175 (100.0)	1,192,254 (100.0)	27,079	2.3
高 齢	545,738 (46.8)	553,549 (46.4)	7,811	1.4
遺 族	66,756 (5.7)	66,775 (5.6)	19	0.0
障害、業務災害、傷病	50,823 (4.4)	52,601 (4.4)	1,778	3.5
保 健	395,270 (33.9)	410,884 (34.5)	15,614	4.0
家 族	65,835 (5.7)	69,687 (5.8)	3,852	5.9
積極的労働市場政策	8,227 (0.7)	7,705 (0.6)	△ 522	△ 6.3
失 業	9,591 (0.8)	9,285 (0.8)	△ 306	△ 3.2
住 宅	5,929 (0.5)	6,172 (0.5)	244	4.1
他の政策分野	17,006 (1.5)	15,594 (1.3)	△ 1,412	△ 8.3

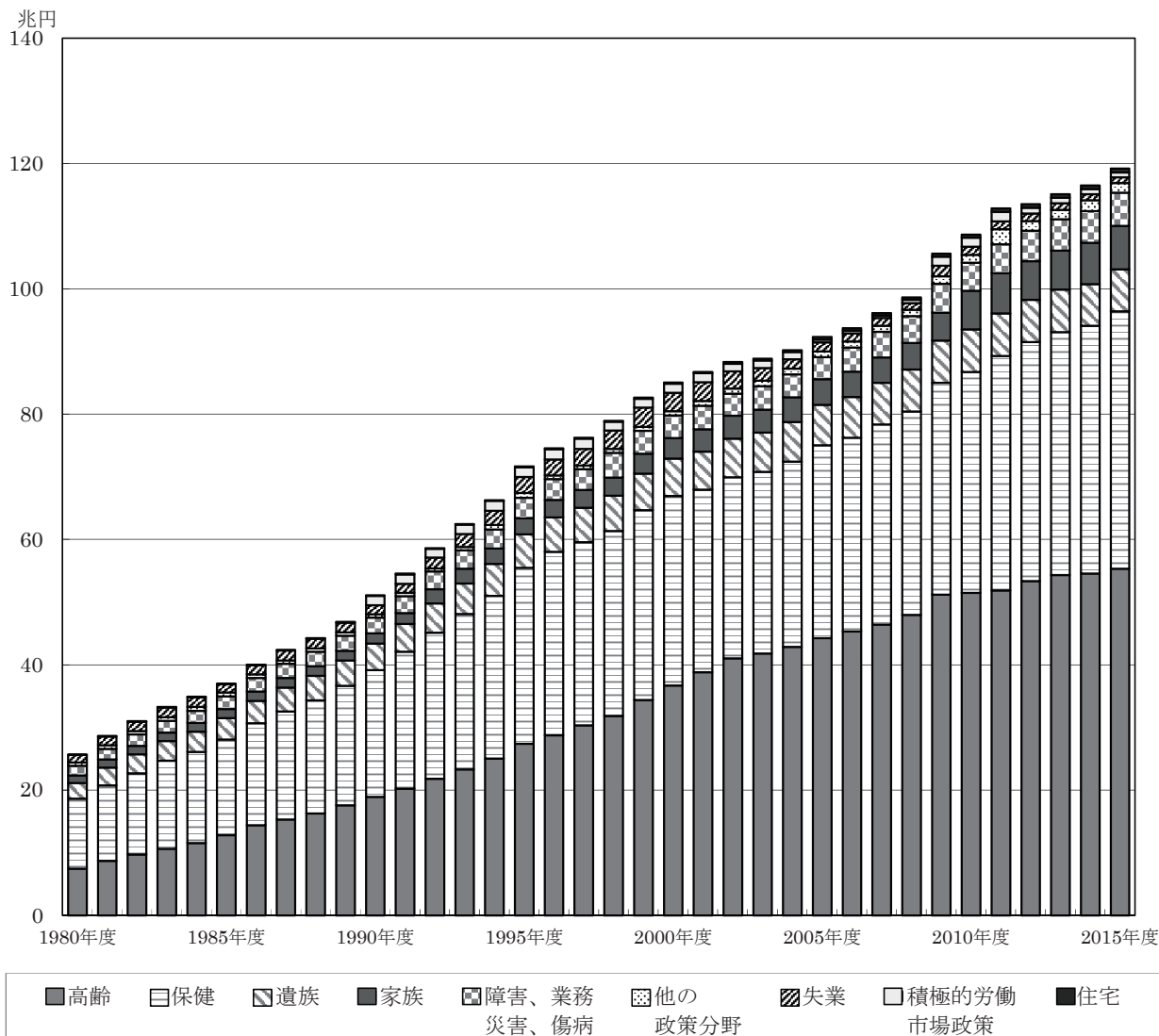
(注)

1. ( ) 内は構成割合である。
2. 政策分野別の項目説明は、57-65頁を参照。

表5 政策分野別社会支出の対国内総生産比

社会支出	2014年度	2015年度	対前年度増加分
	%	%	%ポイント
合計	22.50	22.40	△ 0.10
高齢	10.54	10.40	△ 0.14
遺族	1.29	1.25	△ 0.03
障害、業務災害、傷病	0.98	0.99	0.01
保健	7.63	7.72	0.09
家族	1.27	1.31	0.04
積極的労働市場政策	0.16	0.14	△ 0.01
失業	0.19	0.17	△ 0.01
住宅	0.11	0.12	0.00
他の政策分野	0.33	0.29	△ 0.04

図1 我が国の政策分野別社会支出の推移



(出所)

31頁「第1表 政策分野別社会支出の推移」より作成。

(2) 社会支出の国際比較

諸外国の社会支出を対国内総生産比で見ると、2013年度時点でイギリスとおよそ同水準にあり、アメリカよりは大きい、スウェーデンやフランス・ドイツなど大陸ヨーロッパ諸国に比べると小さくなっている。

図2 政策分野別社会支出の国際比較 (2013年度)

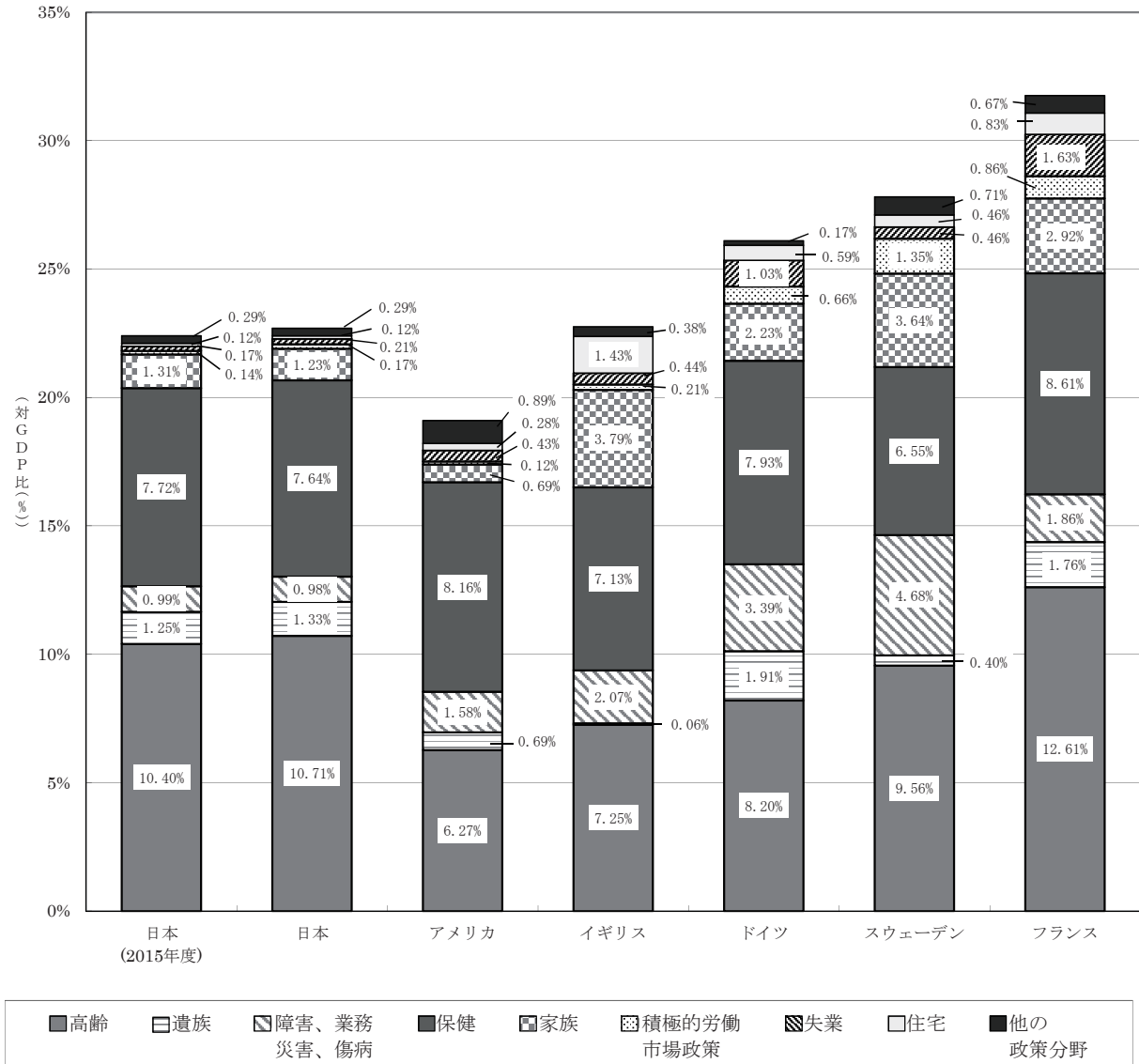


表6 社会支出の国際比較 (2013年度)

社会支出	日本 (2015年度)	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	スウェーデン	フランス
社会支出 対国内総生産比	22.40%	22.69%	19.10%	22.76%	26.11%	27.81%	31.75%
(参考) 対国民所得比	30.69%	30.79%	24.13%	31.43%	35.70%	43.55%	45.46%

(資料) 諸外国の社会支出は、OECD Social Expenditure Database による。

(<http://www.oecd.org/els/social/expenditure>)

国内総生産・国民所得については、日本は内閣府「平成27年度国民経済計算年報」、諸外国はOECD National Accounts 2016 による。

(出所) 上記資料より国立社会保障・人口問題研究所が作成。

図3 政策分野別社会支出の構成割合の国際比較 (2013年度)

